

2. 指標設定

成果指標	指標名	施設の適正管理	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			農業施設の適正な管理が必要のため			
活動指標	指標	a	施設の維持管理	b		c		d
	数値	目標	—	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
施設の適正管理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 施設の維持管理		—	—	—
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
「公共施設の見直しに関する指針」に沿った具体的対応。
対応（改善点等）
指定管理料の検証を行い、維持管理費や管理体制は必要最小限とする 施設有効活用のため、新たな指定管理の導入や施設統廃合の検討。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

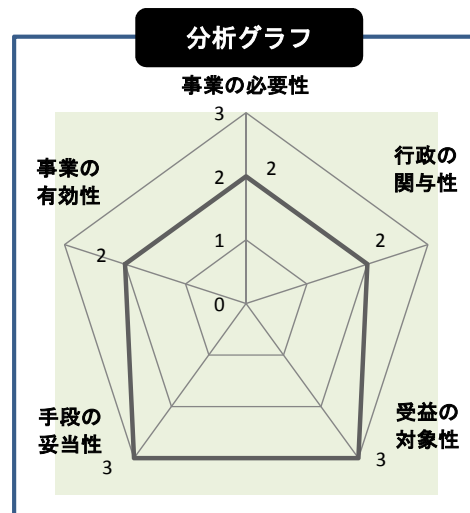
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		10,821	9,303	7,552	9,858
うち経常経費		8,285	7,303	7,552	9,728
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	381	131	99	130
	一般財源	10,440	9,172	7,453	9,728
うち経常		7,904	7,171	7,453	9,728
事業費に係る人件費		1,720	1,718	1,744	1,774
事業費に係る人役		0.40	0.40	0.40	0.40

6. H27年度予算の方向性

方向性
減額
理由
施設の統廃合を行い、施設数を減らす予定であるため、一定の管理経費減少が見込める。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 直営施設は今後も管理の必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間による経営のノウハウを活用できる施設があるため。（施設によっては市から民間へ移行すべき）
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民が利用できる。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市の行革方針に基づいた手段であると判断できる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 維持管理費を迎える反面、施設老朽化による修繕費が増えている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	公共施設の見直し方針に則り業務を進めること。